

暖かく気持ちのよいぽかぽか陽気と共に、新年度がスタートしました。また、外に出かけるのが楽しみな季節にもなりました。お出かけの際は、ぜひ図書館にもお立ち寄りください。

今月の「家族で読書」

このコーナーでは、図書館をご家族で利用している方にオススメの本を紹介していただきます！今月は「堀田さん」親子です。



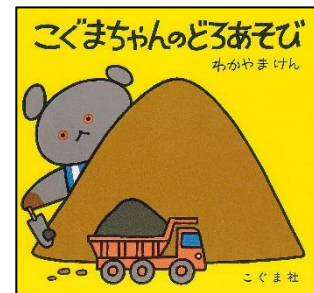
堀田 美帆さん
堀田 陽翔くん

お母さん・美帆さんからひとこと

こぐまちゃんシリーズで1番反応が良い1冊です。

お気に入りのページになると声を出して笑ってくれます。

堀田 陽翔くん (0歳) のオススメの本



「こぐまちゃんのどろあそび」

(こぐま社)

わかやま けん/絵

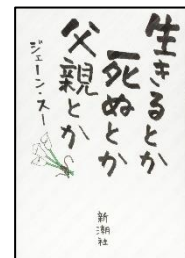
森 比左志/文

わだ よしおみ/文

一般書ベスト予約

- ↑ 1位 「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」(光文社) 東野 圭吾
- ↑ 2位 「52 ヘルツのクジラたち」(中央公論新社) 町田 そのこ
- ↑ 3位 「野良犬の値段」(幻冬舎) 百田 尚樹
- ↑ 4位 「逆ソクラテス」(集英社) 伊坂 幸太郎
- ↑ 5位 「推し、燃ゆ」(河出書房新社) 宇佐見 りん
- 6位 「元彼の遺言状」(宝島社) 新川 帆立
- 7位 「心淋し川」(集英社) 西條 奈加
- 8位 「おばんでございます」(北海道新聞社) 桜木 紫乃
- 9位 「乱麻」(講談社) 上田 秀人
- 10位 「空白の家族」(講談社) 堂場 瞬一

注目本！！



「生きるとか死ぬとか父親とかか」

(新潮社)

ジェーン・スー/著

ラジオパーソナリティ、コラムニストなど多彩な顔を持つジェーン・スー。母親を亡くし唯一の肉親となった父親への愛憎や家族の表裏について書いたエッセイ。4月9日スタートドラマの原作。

新着図書案内

★→一般書 ☆→児童書

小説

- ★「見果てぬ花」(小学館) 浅田 次郎/著
- ★「小隊」(文藝春秋) 砂川 文次/著
- ★「未明の丘」(文芸社) 大嶋 岳夫/著

絵本

- ☆「にんじゃいぬタロー」(講談社) 渡辺 陽子/作
- ☆「ねこはるすばん」(ほるぷ出版) 町田 尚子/作

小説

- ★「文豪たちのずるい謝罪文」 (宝島社)
山口 謠司/著



金の無心から締切の交渉、不倫の言い訳、喧嘩の仲裁や詫び…。芥川龍之介、太宰治、林芙美子ら日本の文豪たちが書いたユーモアにあふれる詫び状を、中国文献学者による解説とともに紹介する。

おはなし

- ☆「セイギのミカタ」(フレーベル館)

佐藤 まどか/作



小4のキノは、はずかしいと顔がまっかになるのが悩み。目立ちたくない。普通でいたい。なのに、あいつがやってきて…。みんながほんのちょっとずつ勇気を持てば、なにかが変わるかもしれない…そんな想いをこめた物語。

くらし

- ★「世界のおやつ」(パイインターナショナル) 鈴木 文/著
- ★「床にもものを置かないだけで、一生散らからない家になる！」 宝島社

社会

- ★「スマホで子どもが騙される」 (青春出版社) 佐々木 成三/著



誘拐、自撮り性被害、闇バイト…。SNS やオンラインゲームがらみで子どもたちが巻き込まれた事件を取り上げ、対策とともに解説する。スマホに潜むワナと安心安全な使い方、クイズ形式で紹介する。

生き方

- ★「おひとりさまの親と私の『終活』完全ガイド」 (日経BP)



独身でも、夫や子供がいても、女性は人生の最期には「ひとり」になる可能性が高いのが現実。介護から相続、離婚、親の死・葬儀まで、人生後半への備えを完全ガイド。

4月の休館日

1日(木)・8日(木)
15日(木)・22日(木)
29日(木)